

令和7年度 下阿多古小学校グランドデザイン

- ◆国の教育政策に関する基本方針
 - ・持続可能な社会の担い手の育成
 - ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上
- ◆はまつの教育「目指すこどもの姿」
 - ・自分らしさを大切にすることも
 - ・他者と協働し、主体的に行動できるこども
 - ・自己調整しながら、粘り強く取り組むこども
- ◆清竜中学校区
 - 自分の良さに気付き、他者との関わりを大切に、夢に向かって努力する子

- ◆校区の実態
 - 阿多古川を中心とした豊かな自然に恵まれている。
 - 温かな地域との関わりを通して、学校や子供たちは、見守られ、支えられている。
- ◆児童の実態
 - 明るく素直で何事にも真面目に取り組む。
 - 学年関係なく接することができる。
 - ▲自分で判断し、主体的に行動することに課題。
 - ▲新しいことを創造したり、挑戦したりすることに課題。

校訓 「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標 ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子

教育目標具現のための3つの柱(キャリア教育の推進)

将来設計・選択の力
(今と未来のわたし)

他者に働き掛ける力・
コミュニケーション力
(大切な仲間)

計画・立案・実行・評価の力
(計画と実行)

< 確かな学力 >

- 主体的・対話的で深い学びを目指した教師自身の主体的な授業研修
- ICT機器活用と情報活用能力の育成 (個別最適な学びと協働的な学びへの効果的活用)
- 複式授業の学習スタイルをモデルとした学び方の確立(学習リーダーの研修)

< 豊かな心 >

- 主体的に活動するための機会や場の設定
 - ・「ひと」「もの」「こと」への感謝 ・人と場に応じた言動 ・動と静の切り替え ・「聴く」こと
- 多様性にふれ、他者を尊重し、自分の視野や考え方を広げる場の設定(多様性と包摂性)
 - ・気持ちのよい挨拶とありがとう ・異学年交流 ・連合教育 ・相手の気持ちに立った伝え方
 - ・違いを受け入れ、より良い落としどころを見つける力
- 自分自身を見つめ直し、なりたい自分を思い描く場の設定
 - ・「振り返り」の場の工夫 ・キャリアパスポートの効果的な活用

< 健やかな心身 >

- 個に応じた自力解決と挑戦の場の設定及び、個に寄り添った支援
 - ・「分かった」「できた」の承認 ・「分からない」と言える ・「やってみよう」と思える
- 体力や技能の向上に向け、目標をもって運動に取り組むことができる場の工夫
- 心身の健康や安全に対する意識を高め、実践につなげる機会の設定

ふるさと下阿多古を愛する心の醸成

- 地域の人材や環境を活用した教育活動の推進による実感のある学びの設定
- 地域の「ひと」「もの」「こと」への感謝と、これからにどうつなげるか考える場の設定



安定した学校経営の基盤

- ◆ 児童・保護者・教職員が安心できる学校風土づくり(温かい関わり、いじめを生まない、見逃さない)
- ◆ 保護者や地域から信頼される学校の推進(学校HP・ブログ、学校・学級だより、教育相談体制、CS)
- ◆ 家庭との連携による学習・生活習慣の確立(家庭学習、教育相談、保健だより)
- ◆ 児童の健康と安全を守る環境づくりと危機管理体制の構築(施設設備、防犯・防災、いじめ防止)
- ◆ 教職員の資質向上と心身の健康増進の両立(主体的な研修、バランスの取れた働き方改革)

～心理的安全性のある関係性 学校、家庭、地域それぞれのウェルビーイングの実現～